

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 メッセージ
 コード番号 2400 URL <http://www.amille.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 古江 博
 (氏名) 岩本 隆博

TEL 086-242-1551

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,282	8.6	1,447	20.6	1,533	21.1	831	295.3
23年3月期第1四半期	8,545	12.7	1,200	25.7	1,265	35.7	210	△57.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 868百万円 (255.2%) 23年3月期第1四半期 244百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4,143.38	—
23年3月期第1四半期	1,048.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	38,379	19,055	49.2
23年3月期	38,721	19,070	48.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 18,888百万円 23年3月期 18,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4,400.00	4,400.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5,300.00	5,300.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,700	7.9	3,000	16.8	3,100	14.4	1,700	57.0	8,466.13
通期	38,500	9.1	6,300	11.5	6,600	10.9	3,600	20.7	17,928.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	200,800 株	23年3月期	200,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	200,800 株	23年3月期1Q	200,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、急速に落ち込んだものの、サプライチェーンの復旧や個人消費の自粛ムードの和らぎを受けて徐々に持ち直しの動きとなっております。

介護業界を取り巻く環境につきましては、平成23年6月に改正介護保険法が成立し、定期巡回・随時対応型訪問介護サービスの創設や一部医療行為が対応可能になるなど、小幅な改正であり、介護給付費の抑制策や財源確保等の抜本的な改革は手つかずとなっております。一方、高齢者専用賃貸住宅は「高齢者の居住安定確保に関する法律」（高齢者住まい法）の改正を受け、「サービス付き高齢者向け住宅」に名称を変更し、高齢者の住まいに関する基準が明確になります。行政としても整備事業としての補助金交付や税制優遇等により、供給を促進させていくこととなりますが、現時点では高齢者住まい法が施行されていないため、詳細については動向を注意深く見守る必要があります。

このような状況のもと、当社においては、主力事業である介護付有料老人ホーム事業（アミーユ事業）は引続き高い評価をいただき、高い入居率を維持して、安定した運営を行い、着実に施設数を増やしております。一方、サービス付き高齢者向け住宅事業（Cアミーユ事業）においても、平成23年6月末の入居率は約88%と順調に推移しており、安定した収益を出せるようになったため、従来よりも小規模でかつ低価格の物件への取り組みを開始しております。当社は多様化するニーズに迅速に対応するとともに、適正な価格で、かつより質の高いサービスを提供していくため、アミーユ事業及びCアミーユ事業の両事業とも現状に甘んじず進化、発展させていくように取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の「アミーユ」の展開につきまして、計5施設を開設し、当第1四半期連結累計期間末の「アミーユ」の施設数は、直営142施設、FC21施設、合計163施設、総入居定員は8,468名となっております。また、「Cアミーユ」は計1件を開設し、当第1四半期連結累計期間末の「Cアミーユ」の件数は合計21件、総入居定員1,922名となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収入は9,282百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業利益は1,447百万円（同20.6%増）、経常利益は1,533百万円（同21.1%増）、四半期純利益は831百万円（同295.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下ようになっております。

① アミーユ事業

当第1四半期連結累計期間において5施設の「アミーユ」を新たに開設したこと、既存施設の稼働率が良好であったことにより、営業収入は7,601百万円（同3.5%増）、セグメント利益は1,028百万円（同4.6%減）となりました。

② Cアミーユ事業

当第1四半期連結累計期間において1件の「Cアミーユ」を開設したこと、既存物件の入居率が向上したことにより、営業収入は1,154百万円（同49.7%増）、セグメント利益は65百万円（前年同四半期は149百万円の損失）となりました。

③ 給食事業

当第1四半期連結累計期間において「Cアミーユ」の入居者が増加したこと等により、営業収入は291百万円（前年同四半期比27.8%増）、セグメント利益は256百万円（同40.9%増）となりました。

④ その他

当第1四半期連結累計期間において介護用品の販売が増加したこと等により、営業収入は235百万円（同15.8%増）、セグメント利益は96百万円（同10.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は、主として法人税等の支払による現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末比342百万円減の38,379百万円となりました。

負債につきましては、主として長期借入金等が減少した結果、327百万円減の19,323百万円となりました。

純資産は14百万円減の19,055百万円となり、自己資本比率は49.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ516百万円減少し、当第1四半期末残高は9,675百万円（前年同四半期比30.3%増）となりました。

当第1四半期末における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は744百万円(同5.2%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が1,531百万円(同66.9%増)になったこと及び減価償却費が282百万円(同4.3%減)となったこと、未払金が747百万円(同7.8%増)増加したこと等により資金を得た一方で、法人税等の支払により1,404百万円(同40.4%増)使用したこと及び売上債権が229百万円(同36.5%増)増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は212百万円(同42.0%減)となりました。これは主に新規開設に伴う有形固定資産の取得に89百万円(同70.8%減)使用したこと及び差入保証金の払込により124百万円(同421.1%増)支出したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,048百万円(同25.3%増)となりました。これは主に長期借入金の返済に177百万円(前年同四半期比増減無し)支出したこと及び配当金の支払に843百万円(前年同四半期比32.1%増)使用したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結損益状況につきましては、営業収入は38,500百万円、営業利益は6,300百万円、経常利益は6,600百万円、当期純利益は3,600百万円を予想しており、平成23年3月期決算短信(平成23年5月9日開示)に記載した内容と変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,292,046	9,775,254
営業未収入金	4,693,094	4,921,515
原材料及び貯蔵品	10,633	18,928
前払費用	571,867	634,849
その他	525,605	511,153
貸倒引当金	△7,981	△4,942
流動資産合計	16,085,266	15,856,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,481,899	11,296,615
車両運搬具（純額）	44,167	39,569
工具、器具及び備品（純額）	219,973	208,567
土地	1,610,092	1,610,092
リース資産（純額）	3,833,255	3,790,667
建設仮勘定	37,393	95,831
有形固定資産合計	17,226,782	17,041,343
無形固定資産		
のれん	154,657	145,921
その他	381,025	378,727
無形固定資産合計	535,682	524,649
投資その他の資産		
差入保証金	3,922,809	3,992,765
その他	966,795	980,933
貸倒引当金	△15,786	△16,948
投資その他の資産合計	4,873,819	4,956,750
固定資産合計	22,636,284	22,522,743
資産合計	38,721,550	38,379,503
負債の部		
流動負債		
営業未払金	378,622	388,605
短期借入金	708,984	708,984
未払金	1,313,182	2,060,648
未払法人税等	1,447,011	682,210
賞与引当金	560,754	277,679
その他	1,738,403	1,917,370
流動負債合計	6,146,957	6,035,497
固定負債		
長期借入金	8,758,979	8,581,733
退職給付引当金	56,235	59,789
役員退職慰労引当金	58,040	58,782
資産除去債務	553,935	557,152
その他	4,076,829	4,030,652
固定負債合計	13,504,020	13,288,110
負債合計	19,650,977	19,323,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,925,160	3,925,160
資本剰余金	4,167,510	4,167,510
利益剰余金	10,855,229	10,803,701
株主資本合計	18,947,899	18,896,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,489	△7,467
その他の包括利益累計額合計	△7,489	△7,467
少数株主持分	130,162	166,991
純資産合計	19,070,572	19,055,895
負債純資産合計	38,721,550	38,379,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収入	8,545,996	9,282,663
営業原価	6,184,366	6,541,672
営業総利益	2,361,629	2,740,991
販売費及び一般管理費	1,161,093	1,293,697
営業利益	1,200,536	1,447,294
営業外収益		
受取利息	8,352	8,760
持分法による投資利益	260	245
助成金収入	133,522	150,896
その他	1,250	3,548
営業外収益合計	143,385	163,451
営業外費用		
支払利息	78,094	77,367
その他	9	39
営業外費用合計	78,103	77,406
経常利益	1,265,818	1,533,338
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,694	—
特別利益合計	1,694	—
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	323	1,605
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60,115	—
過年度保証金償却額	289,351	—
特別損失合計	349,791	1,611
税金等調整前四半期純利益	917,722	1,531,727
法人税、住民税及び事業税	670,243	662,906
法人税等合計	670,243	662,906
少数株主損益調整前四半期純利益	247,478	868,821
少数株主利益	37,020	36,829
四半期純利益	210,458	831,991

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	247,478	868,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,874	21
その他の包括利益合計	△2,874	21
四半期包括利益	244,603	868,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,583	832,013
少数株主に係る四半期包括利益	37,020	36,829

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	917,722	1,531,727
減価償却費	295,418	282,651
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60,115	—
過年度保証金償却額	289,351	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,694	△1,876
賞与引当金の増減額(△は減少)	△260,574	△283,074
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,943	3,554
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,537	741
受取利息	△8,352	△8,760
持分法による投資損益(△は益)	△260	△245
支払利息	78,094	77,367
固定資産除却損	323	1,605
売上債権の増減額(△は増加)	△168,446	△229,856
前払費用の増減額(△は増加)	△62,390	△61,609
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,757	6,149
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,667	9,983
未払金の増減額(△は減少)	693,120	747,466
その他の流動負債の増減額(△は減少)	84,556	145,131
預り保証金の増減額(△は減少)	△43,589	△17,348
その他	△3,031	22,114
小計	1,862,933	2,225,720
利息及び配当金の受取額	66	680
利息の支払額	△77,915	△77,601
法人税等の支払額	△1,000,426	△1,404,685
営業活動によるキャッシュ・フロー	784,657	744,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△308,118	△89,909
無形固定資産の取得による支出	△33,943	△4,180
差入保証金の差入による支出	△23,886	△124,463
差入保証金の回収による収入	278	6,712
その他	△424	△396
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366,095	△212,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△177,246	△177,246
リース債務の返済による支出	△21,295	△27,768
配当金の支払額	△638,534	△843,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	△837,076	△1,048,667
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△418,514	△516,791
現金及び現金同等物の期首残高	7,845,338	10,192,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,426,823	9,675,254

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミーユ 事業	Cアミーユ 事業	給食事業	計				
営業収入								
外部顧客への 売上高	7,343,527	771,169	228,309	8,343,005	202,991	8,545,996	—	8,545,996
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	701,668	701,668	109,098	810,767	△810,767	—
計	7,343,527	771,169	929,977	9,044,673	312,090	9,356,764	△810,767	8,545,996
セグメント利益 又は損失(△)	1,078,318	△149,927	181,720	1,110,111	87,470	1,197,582	2,953	1,200,536

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品販売事業及びF C事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,953千円は、セグメント間取引消去2,953千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミーユ 事業	Cアミーユ 事業	給食事業	計				
営業収入								
外部顧客への 売上高	7,601,379	1,154,318	291,834	9,047,532	235,131	9,282,663	—	9,282,663
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	716,473	716,473	161,638	878,111	△878,111	—
計	7,601,379	1,154,318	1,008,307	9,764,005	396,770	10,160,775	△878,111	9,282,663
セグメント利益	1,028,968	65,424	256,090	1,350,483	96,628	1,447,111	182	1,447,294

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品販売事業及びF C事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額182千円は、セグメント間取引消去182千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。